

当院（歯科）における 新型コロナウイルスに対する標準的取り組み

南あわじ市・（医）ケイ歯科クリニック 佐藤 圭（歯科医師）

1月に新型コロナウイルス感染が日本国内で確認されてから世界で3000万人、国内では8万人（9月21日現在）を超える感染者を数える。

その間、多くの業種における感染対策、国民の自粛生活などにより世界に比べ爆発的な拡大は見られないものの終息の気配は感じられない。

今後はさらに冬に向けて季節性インフルエンザと共に新型コロナウイルスの流行が懸念される場所である。

さて、全国の歯科医院も他業種と同様1月～2月にかけて新型コロナウイルス対策に追われることに直面した。

一般的にウイルスは唾液に多く含まれ、また飛沫感染が最も多いと言われている中において歯科医院のウイルス対策は困難を極めるが、幸い全国歯科医師の多大な努力で患者さんからの感染、患者さんへの感染は現状においてほぼ完ぺきにコントロールされている。

この度、当院の感染対策を紹介させて頂くが決して特別な対策はしておらず、全国歯科医院の標準的・平均的対策である。

今回は歯科以外の皆様方に当院における取り組みの一端を紹介させて頂きご指導ご教示を賜りたいと考えています。